

## 生体牛の評価の試行結果(ホンジュラス)【暫定版】

### 生体牛のリスクの総括(ホンジュラス)

#### <侵入リスク>

	1986-1990	1991-1995	1996-2000 <sup>※</sup>	2001-2005 <sup>※</sup>	2006-
生体牛	不明	不明	無視できる	無視できる	無視できる
肉骨粉	不明	不明	不明	無視できる	無視できる
全体	不明	不明	不明	無視できる	無視できる

※生体牛は1999年以降、肉骨粉は2005年以降のみのデータ

#### <暴露・増幅リスク>

暴露・増幅リスク	不明	
1986	2001	2007

#### <サーベイランス>

1990年より、高リスク牛を対象にパッシブサーベイランスを開始。

2001年より、アクティブサーベイランスを開始。

30ヵ月齢超えの牛をと畜場にてランダムにサンプリングしている。通常と畜牛のみを検査している。

BSE認知プログラムは1990年に開始。

母集団数(2006年) 合計約202万頭 (肉用牛約85万頭(と畜時平均月齢30ヵ月齢)、乳用牛約117万頭(と畜時平均月齢72ヵ月齢))

サーベイランスの成績					
年次	通常と畜牛	死亡牛	不慮の事故による と畜牛	臨床的に疑われる牛	合計
2005	62				62
2006	27				27
2007	139				139

## 生体牛の侵入リスク(ホンジュラス)

			1986-1990		1991-1995		1996-2000 <sup>※</sup>		2001-2005		2006-		合計		
			輸入頭数		輸入頭数		輸入頭数		輸入頭数		輸入頭数		輸入頭数		
輸入実績	英国	回答書													
		貿易統計													
	欧州(中程度汚染国)	回答書													
		貿易統計													
	欧州(低汚染国)	回答書													
		貿易統計													
	米国	回答書								68		80		148	
		貿易統計				137		53		53		176		419	
	カナダ	回答書													
		貿易統計													
	その他( )	回答書													
		貿易統計													
合計	回答書				データ無し		0		68		80		148		
	貿易統計				0		137		53		176		419		

		1986-1990		1991-1995		1996-2000 <sup>※</sup>		2001-2005		2006-		合計	
		頭数	英国換算	頭数	英国換算	頭数	英国換算	頭数	英国換算	頭数	英国換算	頭数	英国換算
暴露要因となった可能性のある輸入牛 <sup>※</sup>	英国												
	欧州(中程度汚染国)												
	欧州(低汚染国)												
	米国							68	0.00	80	0.00	148	0.00
	カナダ												
	その他(メキシコ)												
	合計			データ無し		データ無し	0	0.00	68	0.00	80	0.00	148
			不明		不明		無視できる		無視できる		無視できる		

※) 1996-2000年の期間は、1999年以降のみのデータ(貿易統計については、1996-2000年のデータ)

注) 輸入実績及び暴露要因となった可能性のある輸入牛については、加重係数を設定した期間の輸入頭数のみを記載している。

## 肉骨粉の侵入リスク(ホンジュラス)

			1986-1990	1991-1995	1996-2000	2001-2005 <sup>※</sup>	2006-	合計
			輸入トン数	輸入トン数	輸入トン数	輸入トン数	輸入トン数	輸入トン数
輸入実績	英国	回答書						
		貿易統計						
	欧州(中程度汚染国)	回答書						
		貿易統計						
	欧州(低汚染国)	回答書						
		貿易統計			206			206
	米国	回答書				1,762	1,014	2,776
		貿易統計			428	4,452	1,147	6,027
	カナダ	回答書						
		貿易統計						
	その他( )	回答書						
		貿易統計						
	合計	回答書	データ無し	データ無し	データ無し	1,762	1,014	2,776
		貿易統計	0	0	634	4,452	1,147	6,233

		1986-1990		1991-1995		1996-2000		2001-2005 <sup>※</sup>		2006-		合計	
		トン数	英国換算	トン数	英国換算	トン数	英国換算	トン数	英国換算	トン数	英国換算	トン数	英国換算
暴露要因となった可能性のある肉骨粉	英国												
	欧州(中程度汚染国)												
	欧州(低汚染国)												
	米国							1,762	0.04	1,014	0.02	2,776	0.06
	カナダ												
	その他( )												
	合計	回答書	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し	1,762	0.04	1,014	0.02	2,776	0.06
貿易統計		不明	不明	不明	不明	不明	無視できる	無視できる					

※) 2001-2005年の期間は、2005年だけのデータ(貿易統計については、2001-2005年のデータ)

※) 貿易統計の再調査により、2004年にスペインからの輸出されたMBM1,888トンは、ホンジュラスではなくチリへ輸出されたことが確認されたため、削除。(11/28 加筆修正)

注) 輸入実績及び暴露要因となった可能性のあるMBMについては、加重係数を設定した期間の輸入トン数のみを記載している。

## 生体牛の暴露・増幅リスク（ホンジュラス）

### ○飼料給与

飼料給与規制に関しては不明

### ○SRMの利用

2005年に30ヶ月齢超の個体からのSRM(背根神経節、せき髄、扁桃、回腸遠位部)の除去を規定。

SRMは牛以外の飼料に利用。

農場で死亡あるいはと畜されたと体はレンダリングされず、農場で廃棄される。

### ○レンダリングの条件

データなし

### ○交差汚染防止対策

データなし

### <暴露・増幅リスク>

	飼料給与の状況	SRMの利用、レンダリングの条件、交差汚染防止対策	判定
	不明	SRMは牛以外の飼料に利用。 農場で死亡あるいはと畜されたと体はレンダリングされず、農場で廃棄される。 レンダリングの条件、交差汚染防止対策については不明	不明